

羅 針 盤		
評価対象	評価項目	具体的数値項目
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。
		② 「自分の学校が好きだ」と感じている生徒の割合は、80%以上である。
		③ 年間を通じて1つ以上の資格取得にチャレンジし、90%以上の生徒が1つ以上の資格を取得している。
	2 資格取得指導や検定試験指導を行っていますか。	④ 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。
		⑤ 生徒は確かな学力を身に付けていますか。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑥ 学力の向上を実感している生徒が70%以上である。
		⑦ 一連の学習活動(課題設定、調査・研究、まとめ、発表等)に主体的に取り組んだと自己評価している生徒が70%以上である。
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑧ 職員会議や学年会議、科会議等諸会議において、生徒に関する情報交換を月に3回程度行っている。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 職員、来校者、生徒同士にあいさつのできる生徒が80%以上である。
		⑩ 月1回以上、校内の安全点検を実施し、環境の整備に努めている。
		⑪ 生徒の情報収集や共有する機会を毎月作り、いじめ防止対策委員会を各学期に1回以上行っている。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 家庭との連携を図りながら、生徒の欠席・遅刻をしないよう指導し全校で1日当たりの欠席者を6名以下、遅刻を10名以下にする。

方 策
<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別授業、少人数指導を効果的に実施する。 ・ものづくりコンテスト等の各種コンテストや地域イベントに積極的に参加する。 ・高大連携事業や専門学科講師派遣事業、高度熟練技能者やものづくりマイスターの活用、インターンシップ等を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を通して帰属意識を育む指導をする。 ・本校卒業生を招いて講話等を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で資格取得の必要性を説明する。 ・指導体制を確立し、計画的な指導を実施する。 ・生徒の進路希望に対応した資格取得について指導する。 ・早朝・放課後に補習を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容を精選し、分かりやすい授業を展開する。 ・教科間の連携を図り、生徒の個性や特徴を踏まえた授業を行う。 ・実習等では班別指導を行い、きめ細かく個別指導を行う。 ・授業に関する校内研修を設定したり、授業アンケートの活用を推進する。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に目的意識を持たせ、学習活動や資格取得への取り組みを支援する。 ・宿題や課題を定期的に課し、小テストやレポート提出で学習の定着を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の生徒指導を充実させ、授業に集中できる環境を整える。 ・定期試験前や放課後等に学習をさせる機会を設定する。
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自発性・自主性を取り入れたテーマを考えさせる。 ・年間の活動計画を立案させ、活動日誌を活用させて計画的に学習させ、「校内研究発表会」を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の科会議、運営委員会で生徒の状況について情報交換する。また、必要に応じて生徒に関する相談会議を実施する。 ・学年、教育相談係、各科との連携を図り該当生徒への指導を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の授業の開始、終了時や廊下等で生徒に積極的に声をかけるなど、自然にあいさつができるように働きかける。
<ul style="list-style-type: none"> ・校内安全点検表を活用し、清掃指導時など日頃から環境整備に対する意識を持たせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会や職員会議等で、いじめに関する生徒の情報交換を行う。 ・定期的にいじめアンケートを実施する。 ・面接週間を設定し、生徒一人一人の学校生活で不安なことなど、情報を収集する。
<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、早退の情報を共有し、学年、教育相談係、各科、家庭との連携を図り該当生徒への指導を適宜行う。 ・部活動への積極的な参加を推奨し、学校の活性化や生徒の健康増進に努める。 ・全職員で年間を通して登校時指導を実施し、遅刻の防止を呼びかける。

第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
A	A	①アンケートで、94%の生徒が資格取得の指導に満足していると回答し、93%の保護者が子供は学校の教育活動に満足していると回答した。引き続き計画に沿って指導を継続する。	A	A	① アンケートの結果、1回目の結果から8ポイント下げたが86%の生徒が本校の教育活動に満足していると回答した。1回目とほぼ同様の94%の保護者は子供が学校に満足していると回答した。引き続き方策に沿って指導を継続する。
B	A	②アンケートで、85%の生徒が学校が好きだと回答し、93%の保護者が子供は自分の学校が好きだと回答した。コロナ禍での学校行事の検討が必要である。	A	A	② アンケートで、85%の生徒が学校が好きだと回答し、92%の保護者は子供は自分の学校が好きだと回答した。今後も継続して、魅力ある学校行事になるように工夫する。
B	B	③アンケートで、90%の生徒が1つ以上の資格を取得していると回答し、保護者も子供は1つ以上の資格を取得していると回答した。不合格となった生徒に対してのサポート指導を行う。	B	B	③ アンケートで、90%の生徒が1つ以上の資格を取得していると回答した。第1回目と変化がない点から後期部分にも資格取得のための指導を継続的に強化し継続的な指導を行いたい。
A	A	④アンケートで、86%の生徒が本校の学習指導に満足していると回答し、86%の保護者が満足感や達成感を感じていると回答した。引き続き計画に沿って指導を継続する。また、ICTを活用しアンケート調査を行い易いよう環境を整えた。	A	A	④ アンケートで、86%の生徒が本校の学習指導に満足していると回答し、88%の保護者が満足感や達成感を感じていると回答した。引き続き方策を踏まえた指導を継続する。グループルームの全学的な使用を継続的に推奨していくほか、授業改善のための校内研修を計画していく。
B	B	⑤アンケートで、81%の生徒が家庭学習に取り組んでいると回答した。学習時間が少ない為、Chromebookを活用し、引き続き家庭学習に取り組むよう指導する。	B	A	⑤ アンケートで、81%の生徒が家庭学習に取り組んでいる。生徒の授業アンケートを参考にし、授業改善を行う。また、家庭学習の習慣化に向けた課題についても検討する。
A	A	⑥アンケートで、83%の生徒が学習内容を理解していると答えた。今後もアンケート調査を参考に授業改善を行う。	A	A	⑥ アンケートで、学習内容を理解していると答えた生徒が84%であった。生徒授業アンケートを参考にし、引き続き授業改善を行う。
A	A	⑦アンケートで、95%の生徒が課題研究に積極的に取り組んでいると回答した。今後も計画的に指導し、授業の充実に努める。	A	A	⑦ アンケートで、95%の生徒が課題研究に積極的に取り組んでいると回答した。今後も積極的に取り組める課題を設定し、充実した指導を行う。
A	A	⑧各種委員会、職員会議、科会議、学年会等でタイムリーに生徒に関する情報交換を実施している。今後も継続する。	A	A	⑧ 朝会や職員会議等で生徒の情報交換を実施している。また、各担任が教育相談係、スクールカウンセラーと連携して、支援の必要な生徒に対応している。
A	A	⑨アンケートで、98%の生徒が来校者や先生に対して挨拶がしっかりできていると回答した。引き続き指導を継続する。	A	A	⑨ アンケートで、98%の生徒が来校者や先生に対して挨拶がしっかりできていると回答した。現在の状態を継続できるよう指導する。
A	B	⑩放課後の清掃活動にて安全点検を実施し、実習等の授業の中では整理整頓等を指導し、安全について意識付けを行っている。	A	A	⑩ 毎月1回、清掃時に、安全点検を実施している。見つけた危険箇所や不備部分は改善している。
A	A	⑪生徒のいじめに関する情報の把握の体制を継続するとともに、いじめを把握できる環境づくりに努める。	A	A	⑪ 毎学期いじめアンケートを実施。その後、いじめ防止対策委員会を実施。委員会で情報を共有しつつ、方策に沿う指導を学年、生活指導係と連携していじめ解消に努める。
B	A	⑫アンケートで、93%の生徒が遅刻をしないよう登校できていると回答した。1日あたり欠席者(1年:0.8名、2年:4.3名、3年:0.6名)5.7名。年間を通じて継続指導を行う。	B	A	⑫ アンケートで、93%の生徒が遅刻をしないよう登校できていると回答した。全校で1日あたり欠席数は5.2名と減ってきている。生活指導係、教育相談係、保健室、各学年及び家庭との相互連携を密にし、欠席・遅刻を未然に防止する。

羅 針 盤		
評価対象	評価項目	具体的数値項目
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬ 規範意識を持っている生徒が80%以上である。
	8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑭ いじめ防止を理解している生徒が70%以上である。
		⑮ いじめ防止活動に取り組んでいる生徒が70%以上である。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	⑯ 進路実現に積極的に取り組む生徒が70%以上である。
		⑰ 進路ガイダンス関連行事を年4回以上実施する。
		⑱ 進路に関する知識や意識を有する保護者が70%以上である。
		⑲ 学校からの進路に関する配布物に目を通して保護者が70%以上である。
10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑳ 90%以上の3年生が、就職を希望する事業所を事前に訪問し、情報を収集している。	
	㉑ 自分の適性を理解している生徒が80%以上である。	
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	㉒ 学校の教育活動を人々に理解してもらうために「学校公開」を年3回実施している。
		㉓ 各工業科の特色を生かした取り組み、地域の小・中学校に対する広報活動、新聞を活用した広報活動を10回以上行う。
		㉔ 「学校の様子がよく分かる」と、保護者の70%以上が答えている。
Ⅵ 教育のデジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉕ ICTを活用した授業に生徒の70%以上が満足している。
	13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉖ ICTを活用した通知に生徒・保護者の70%以上が満足している。

方 策
<ul style="list-style-type: none"> ・登校時指導や授業前の指導など身だしなみ指導を継続して行う。 ・年5回の頭髪・服装点検を全職員で実施し、指導を必要とする生徒に対し、家庭と連携をしながら改善指導を行う。 ・マナーアップ運動を実施し、保護者と協力して生徒の規範意識を向上させる。 ・生徒が主体となってスマホルールづくりを行い、ルールを遵守させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒総会において、いじめ防止宣言を行う。 ・情報モラル講習会により、SNSやインターネットの危険性や正しい利用方法などについて学ばせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員による「あいさつ運動」を定期的に実施する。 ・各クラスにおいて、いじめについて考えたり、話し合ったりする機会をつくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学年と進路指導部の連携を強化し、進路講話等で進路に対する意識を高める。 ・「自己の生き方」と「将来の職業」について考えさせ、進路選択の方法や進路実現のために準備すべき事を考えさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・入学から卒業まで、各学年で継続的かつ段階的に進路ガイダンスを実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会で卒業生社会人の講話、進路保護者セミナーで保護者対象の進路説明会を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・「進路ニュース」を年間3回以上発行するとともに本校Webページにも進路情報を掲載し、保護者にPRする。
<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業を利用した事業所見学を推進するとともに、事業所見学前の指導を十分に行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・SPI対策テスト、基礎力診断テスト、クレペリン検査を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会に合わせて保護者対象の授業公開を実施する。 ・オープンスクール見学型、体験型の2回実施する。 ・10月に一週間、学校公開を実施し保護者や地域の人たちに授業公開を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞や市の広報誌への情報提供、地域のイベントへ積極的に参加する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが最新の情報となるよう更新を怠らない。また、オクレンジャーを活用して積極的に保護者に情報発信する。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、校内研修・研究授業等でICTの効果的な活用方法を学ぶ。 ・学習用端末を組織的に授業に活用する。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの通知、アンケートのペーパーレス化を図るとともに、アンケートへの回答率を高める。

第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
A	A	⑬アンケートで、96%の生徒が校則や交通ルールを守っていると回答した。今後も「その場での指導」「授業中の生徒指導」を全職員で共通理解のもと、継続する。	A	A	⑬ アンケートで96%の生徒が規則を守っていると回答し、93%の保護者が校則を守っていると回答した。方策に沿った指導を継続する。「その場での指導」「授業中の生徒指導」を全職員で共通理解のもと、実施する。
A	A	⑭アンケートで、98%の生徒が相手を思いやることを理解していると回答した。生徒がいじめ防止について考えるよう、全校集会、学年集会等での取り組みを継続する。	A	A	⑭ アンケートで、98%の生徒が相手を思いやることを理解していると回答している。第1回改善策を継続しながら、全職員で方策を確実に実施する。
A	A	⑮アンケートで、88%の生徒がいじめ防止に向けて積極的に取り組んでいると回答した。ホームルーム活動を通して、生徒が主体的に動ける活動にしていく。	A	A	⑮ アンケートで、88%の生徒がいじめ防止に向けて積極的に取り組んでいると回答した。生活指導係、各学年中心に、全職員で情報を共有しつつ、方策に沿った指導を次年度に向け継続していく。
A	A	⑯学年と科との連携を強化し、多様化している生徒への指導を行い、進路講話の目的を明確にし、内容もできるだけ、具体的にわかりやすく生徒に伝えていく。	A	A	⑯ アンケートで85%の生徒が進路実現に積極的に取り組んでいると回答し、77%の保護者が進路実現に積極的に取り組んでいると回答した。方策及び第1回改善策を実施していく。
A	A	⑰引き続き、進路希望調査の実態に合わせて、学年に適した会社、学校等を選んで実施していく。	A	A	⑰ 進路行事を各学年において、数多く実施してきた。生徒の希望進路に参考となるよう方策及び第1回改善策に沿って実施していく。
A	A	⑱本年度、3年では6月に進路についての三者面談を実施。他の学年は2学期以降に実施する。	A	A	⑱ アンケートにおいて78%の生徒が保護者と進路のことについて話しあっているとの回答があり、講話やセミナーがより効果的になるよう改善する。
A	A	⑲アンケートで、73%の保護者が進路に関する配布物に目を通して回答した。今後、ICTも活用して最新の情報を保護者に提供する。	A	A	⑲ アンケートで68%の保護者が進路に関する配布物に目を通して回答した。方策及び第1回目での改善策を実施していく。
A	A	⑳アンケートで、85%の生徒が進路実現に向けて積極的に取り組んでいると回答した。生徒の希望に合わせた事業所見学を100%実施し、引き続き生徒の希望を確認しながら指導に当たる。	A	A	⑳ 就職希望の3年生全員が志望する事業所の見学を実施した。方策及び第1回改善策を実施していく。
A	A	㉑各種検査等を実施。面談等では検査結果を活用する。	A	A	㉑ 1月に担任と生徒との二者面談を実施。方策及び第1回改善策を実施していく。
A	A	㉒授業公開週間を10月に1週間行う。地域のイベント等にも参加する。コロナ禍でもより学校を知ってもらえるようなオープンスクールを実施する。学校紹介動画やHPの拡充も行う。	A	A	㉒ 学校公開週間を1週間設定、中3生徒対象としたオープンスクールを実施した。校内研究発表会も1月に実施し、地域、保護者に公開する。今後も保護者、地域に情報発信していく。
A	A	㉓協力できる地域イベントを抽出し、積極的に参加する。上毛新聞等、広報関係者へ広報活動を行い、本校の情報を発信できるようにする。	A	A	㉓ 方策及び第1回改善策に沿って実施してきた。Webページを適宜、最新の情報に更新し、地域に情報を発信していく。
A	A	㉔面談やHPの情報から、76%の保護者が学校の様子を知る事が出来ていると回答。持続的な活動を行う。	B	A	㉔ 保護者を中心に学校の情報発信手段を多様化させ、発信している。アンケートで72%の保護者が進路に関する配布物に目を通して回答した。
A	A	㉕アンケートで、89%の生徒がICTを活用した授業に満足と回答しており、今後も拡充を計る。	A	A	㉕アンケートで、89%の生徒がICTを活用した授業に満足しており、Chromebookの使用も定着してきた。
A	A	㉖オクレンジャー等を活用しペーパーレス化を推進、アンケートでは、90%以上の回答率である。	A	A	㉖オクレンジャー、クラスルームを使用してペーパーレス化を推進、アンケートでは、90%前後の回答率である。